



みなみの風

坂下南小学校
学校だより

NO. 34

R6. 7. 17

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

(文責:校長 菅家 篤)

「宿題がある意味」 ～おしえて！ イチロー先生～

野球選手を引退したイチローさんが、ある会社のウェブ動画「おしえて！ イチロー先生」の中で、「宿題がある意味」について語っています。それは次のとおりです。イチローさんが中学生と一緒に食事をしていた時に、生徒から次の質問を受けました。



イチローさん、「宿題がある意味って何だと思いますか？」

そして、イチローさんはこう言いました。

「ぼくの定義(宿題の考え)は、野球選手がトレーニングする感じかな」とし、「宿題ってやりたくないよね。中には勉強が大好きで、それをクリアしていくのが、気持ちいい人もいると思う。(みんなも)基本はイヤでしょ？ できればやりたくない」

と自身のことを振り返って話していました。しかし、イチローさんはこう続けています。

「大人になると、やりたくないことをやらなきゃいけないのよ」苦笑し、「(宿題は)その訓練と捉えることはできると思う。でも、本当にやりたくないことを『やらない』となったら、社会で生きていけないから。そのための(宿題を)訓練という捉え方は、ぼくは好きだね。

「やっぱり好きなことばかりやっていると、世の中ではなかなか、社会人になったら難しくなると思う」

これはあくまでイチローさんの考えです。みなさんは「宿題がある意味」についてどう考えますか。夏休みの宿題に取り掛かる前に、お子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか(^^)／

オシム監督の言葉より

先日の保護者全体会でお伝えしたのですが、サッカー日本代表元監督の伊比チャ・オシム氏の言葉を改めて紹介します。

優勝を争う一番の試合で、決定的な場面でのシュートミスをした選手に対して、新聞記者からコメントを求められて、次のように答えていたのです。

「シュートは外れるときもある。それよりも、あの時間帯にボランチ(守備的なミッドフィルダー)が、あそこまで走ったことをなぜ誉めてあげないんだ」

シュートは外れても、守備的な役割の選手があそこまでたどりつけたことを、監督はしっかり気づいてくれている。こういう環境の中で選手は伸びるのだと思います。



どこを見るかで人は変わります。

明後日、お子さんを通して通知表をお届けします。お子さんの1学期の足跡を振り返り、おうちの方から励ましや称賛の言葉をかけていただければ、子どもは嬉しいと思います。



授業参観のご感想、ありがとうございます(๑)

いつもと違う事がある日は、朝からソワソワ落ち着かなくなり、今朝もいつもより30分早起き。午後の授業は眠くてだらけてしまうのではないかと……。心配は的中でした。終始あくびの連続でうなだれ状態。やる気スイッチを探るべく、一緒に問題を解いてみるも、分からない!!と声を荒げ、説明が耳に入っていない。そんな状態の中で私の見落とし、間違いに気付き、指摘してくれました。人に教える事で、そこから完全にスイッチが入ったようで、スラスラと解き始め、黙々と最後まで集中を切らせませんでした。人の間違いに気付き、教えることによって、考え、意思を伝えることで自信となり、前向きになって、やる気に繋がったように思います。成果を実感する日になりました。(佐藤佐知様より)